

## 第2回県立今治病院老朽化対策基本計画策定委員会における委員の主な意見

### 【病床規模に関すること】

- 中小規模の民間病院の中には、将来的に存続が難しい病院もあり、県立今治病院の重要性は更に高まってくるため、少なくとも240床の規模は必要。
- 医療従事者の確保が難しい中での病床数の設定であり、適正な規模である。

### 【医療機能に関すること】

- 災害医療や感染症医療について、公立病院には担っていただきたい。
- 小児・周産期機能について、出生数は減少するが、2035年を基準とすると、NICU・GCUの現状維持は適正であると考えられる。

### 【人材確保に関すること】

- 看護師不足は今後も大きな問題となると思われる。2040年問題で働き手がなくなるのは確実であり、地元の人員確保の取組みがなければ医療従事者の確保は難しいと考えている。

### 【その他】

- 医療的ケア児の短期入所が課題となっており、今後の施設整備にあたって対応が可能なか検討して欲しい。